

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 高知学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	58 単位	12 単位	
	作業療法学科	夜・通信	50 単位	12 単位	
	言語療法学科	夜・通信	44 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 学生募集を停止しており3年・4年が在籍している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表する。 <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_pt.pdf">http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_pt.pdf</a> (理学療法学科) <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_ot.pdf">http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_ot.pdf</a> (作業療法学科) <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_st.pdf">http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/teacherlist_st.pdf</a> (言語療法学科)
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 高知学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ事業報告書内にて公表（12ページ参照） <a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	H30.8.31～ R2.8.30	学外の学識経験者から多様な意見を採り入れることにより、学校法人における管理運営機能の強化を図る
非常勤	特定医療法人 役員	H30.8.31～ R2.8.30	学外の学識経験者から多様な意見を採り入れることにより、学校法人における管理運営機能の強化を図る
(備考) 学外理事は3名以上であるが、2名を記載している。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 高知学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取り組みの概要)</p> <p>教育課程の体系的な流れが分かるよう、授業形態、単位数、授業の目標、授業の概要、授業計画(授業の回数等)、成績評価方法等をシラバスに記載し、授業科目要綱の中へ掲載している。</p> <p>シラバス(授業科目要綱)は、前年度末(3月)に作成作業が行われ、年度初め(4月)より公開している。</p> <p>シラバス(授業科目要綱)は、学生への配布の他、本学院事務局にて閲覧が可能であり、一般にも公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	授業科目要綱へ掲載し、学生への配布の他、本学院事務局にて一般への閲覧が可能である。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目の単位認定の方法、学習の評価、必修科目、選択科目別の必要単位数、卒業要件について学則に規定し、学生便覧に掲載し、学生に配布している。</p> <p>各授業の成績評価方法は、シラバスに記載され、厳正に評価が行われている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学習の評価は、100点を満点とし、80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可、60点未満を不可とし、可以上を合格とする。臨床実習の評価は、履修を修了したと判断したときは合格とする。この成績の評価については、学則第26条に規定され、学生便覧に掲載している。</p> <p>学生便覧は、学生への配布の他、本学院事務局にて閲覧が可能であり、一般にも公表している。</p> <p>また、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、指標の数値での成績の分布を表す資料を作成し、状況を確認している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧へ掲載し、学生への配布の他、本学院事務局にて一般への閲覧が可能である。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>所定の期間在学し、定める単位を修得し、リハビリテーション技術者として必要な知識及び技術を修得するとともに、広い教養ある社会人となることを教育活動の目的としており、卒業の要件、卒業の認定については、学則にて規定し、学生便覧に掲載している。</p> <p>学生便覧は、学生への配布の他、本学院事務局にて閲覧が可能であり、一般にも公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧へ掲載し、学生への配布の他、本学院事務局にて一般への閲覧が可能である。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 高知学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>
財産目録	<a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>
事業報告書	<a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html">http://www.kochigakuen.ed.jp/html/financialinfo.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	142単位	10単位	27単位	21単位	0単位	0単位
58単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		99人	0人	14人	13人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程の体系的な流れが分かるよう、授業の内容、年間授業計画について、シラバスの中に記載し、授業科目要綱に掲載している。
成績評価の基準・方法
（概要） 科目の単位認定の方法、学習の評価、卒業要件について学則に規定し、学生便覧に掲載している。各授業の成績評価方法は、シラバスに記載され、厳正に評価が行われている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 所定の期間在学し、定める単位を修得し、リハビリテーション技術者として必要な知識及び技術を修得するとともに、広い教養ある社会人となることを教育活動の目的としており、卒業の要件、卒業の認定については、学則に規定されている。また、進級については、試験規程に規定されている。 学則および試験規程は、学生便覧に掲載され、学生へ配布している。

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>日本学生支援機構奨学金やその他について、授業科目要綱(学生生活の手引き)に掲載され、申請の説明や相談等の学修支援が行われている。</p> <p>就職に関しては、就職情報室を1階の活用しやすい場所に設置し常に開放し、医療保健福祉機関の採用に関する情報等、必要な情報が手に入るようにしている。就職ガイダンス、個別就職相談・指導、就職合同説明会、マナー講習会、履歴書の記入方法等具体的ガイダンス、卒業生との交流、研修会、小論文対策指導、面接指導、求職申込履歴書の書き方・添削指導、就職情報検索システムの利用説明(携帯電話・スマートフォン・パソコンから就職情報室に寄せられた求人データの検索)等の取り組みを行っている。</p> <p>また、健康な学生生活を支援するための、保健室、カウンセリング室、定期健康診断や事故等の対応についても、授業科目要綱に掲載し利用等についての案内をしている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
64人 (100%)	1人 (1.6%)	52人 (81.3%)	11人 (17.1%)
(主な就職、業界等) 高知大学医学部附属病院・社会医療法人 近森会など医療関係等			
(就職指導内容) 就職合同説明会・個別相談・面接時におけるマナー講習・履歴書の書き方講習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家試験受験資格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
167人	4人	2.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補導主任による面談や、カウンセラーを配置し学生と話し合い、支援する場を設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	134単位	2単位	26単位	22単位	0単位	0単位
			50単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		69人	0人	8人	12人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教育課程の体系的な流れが分かるよう、授業の内容、年間授業計画について、シラバスの中に記載し、授業科目要綱に掲載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>科目の単位認定の方法、学習の評価、卒業要件について学則に規定し、学生便覧に掲載している。各授業の成績評価方法は、シラバスに記載され、厳正に評価が行われている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の期間在学し、定める単位を修得し、リハビリテーション技術者として必要な知識及び技術を修得するとともに、広い教養ある社会人となることを教育活動の目的としており、卒業の要件、卒業の認定については、学則に規定されている。また、進級については、試験規程に規定されている。</p> <p>学則および試験規程は、学生便覧に掲載され、学生へ配布している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>日本学生支援機構奨学金やその他について、授業科目要綱（学生生活の手引き）に掲載され、申請の説明や相談等の学修支援が行われている。</p> <p>就職に関しては、就職情報室を1階の活用しやすい場所に設置し常に開放し、医療保健福祉機関の採用に関する情報等、必要な情報が手に入るようにしている。就職ガイダンス、個別就職相談・指導、就職合同説明会、マナー講習会、履歴書の記入方法等具体的ガイダンス、卒業生との交流、研修会、小論文対策指導、面接指導、求職申込履歴書の書き方・添削指導、就職情報検索システムの利用説明（携帯電話・スマートフォン・パソコンから就職情報室に寄せられた求人データの検索）等の取り組みを行っている。</p> <p>また、健康な学生生活を支援するための、保健室、カウンセリング室、定期健康診断や事故等の対応についても、授業科目要綱に掲載し利用等についての案内をしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 （100%）	0人 （%）	33人 （86.8%）	5人 （13.2%）
（主な就職、業界等） 高知赤十字病院・社会医療法人 近森会など医療関係等			
（就職指導内容） 就職合同説明会・個別相談・面接時におけるマナー講習・履歴書の書き方講習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	6人	5.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 補導主任による面談や、カウンセラーを配置し学生と話し合い、支援する場を設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	言語療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	149単位	6単位	29単位	16単位	0単位	0単位
			51単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		37人	0人	7人	13人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教育課程の体系的な流れが分かるよう、授業の内容、年間授業計画について、シラバスの中に記載し、授業科目要綱に掲載している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>科目の単位認定の方法、学習の評価、卒業要件について学則に規定し、学生便覧に掲載している。各授業の成績評価方法は、シラバスに記載され、厳正に評価が行われている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>所定の期間在学し、定める単位を修得し、リハビリテーション技術者として必要な知識及び技術を修得するとともに、広い教養ある社会人となることを教育活動の目的としており、卒業の要件、卒業の認定については、学則に規定されている。また、進級については、試験規程に規定されている。 学則および試験規程は、学生便覧に掲載され、学生へ配布している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>日本学生支援機構奨学金やその他について、授業科目要綱（学生生活の手引き）に掲載され、申請の説明や相談等の学修支援が行われている。</p> <p>就職に関しては、就職情報室を1階の活用しやすい場所に設置し常に開放し、医療保健福祉機関の採用に関する情報等、必要な情報が手に入るようにしている。就職ガイダンス、個別就職相談・指導、就職合同説明会、マナー講習会、履歴書の記入方法等具体的ガイダンス、卒業生との交流、研修会、小論文対策指導、面接指導、求職申込履歴書の書き方・添削指導、就職情報検索システムの利用説明（携帯電話・スマートフォン・パソコンから就職情報室に寄せられた求人データの検索）等の取り組みを行っている。</p> <p>また、健康な学生生活を支援するための、保健室、カウンセリング室、定期健康診断や事故等の対応についても、授業科目要綱に掲載し利用等についての案内をしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 （100%）	0人 （%）	21人 （77.8%）	6人 （22.2%）
（主な就職、業界等） いずみの病院・愛宕病院など医療関係等			
（就職指導内容） 就職合同説明会・個別相談・面接時におけるマナー講習・履歴書の書き方講習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	4人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 補導主任による面談や、カウンセラーを配置し学生と話し合い、支援する場を設けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
—	—	—	—	平成 31 年度募集停止
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ ( <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/190531-1.pdf">http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/190531-1.pdf</a> ) にて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 業界団体等の役職者・卒業生・保護者・地域住民等を委員とした学校関係者評価委員会を設置している。教育目的、教育方法・内容、運営状況、その他学校運営の改善と発展に関わる事項について評価を行い、その結果により評価報告書を作成している。 評価報告書には、年度の重点目標の達成状況、項目毎の評定・課題・改善方策および次年度の重点目標・達成計画・取組方法等を記載し、改善に取り組んでおり、評価報告書をホームページにて公表をしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特定医療法人 役員	H31. 4. 1～R3. 3. 31	業界団体等の役職者
高知リハビリテーション学院同窓会 幹事	H31. 4. 1～R3. 3. 31	卒業生
高知リハビリテーション学院後援会 会長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	保護者
地域商工会前会長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	地域住民
市議会議員	H31. 4. 1～R3. 3. 31	地域の地方公共団体の関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ ( <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/190531-2.pdf">http://www.kochi-reha.ac.jp/monka/190531-2.pdf</a> ) にて公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.kochi-reha.ac.jp/">http://www.kochi-reha.ac.jp/</a>
--

